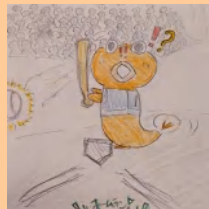


火の川



水川中1年
清水愛未さん作

第321号 【編集発行】熊日宮原販売センター
八代郡水川町柵16-3
TEL 0965-62-3868 Fax62-2867
E-mail kuma-miya@rainbow.plala.or.jp



黒田蓮奈さんが大賞受賞 第18回八代亜紀絵画コンクール



授賞した5人と八代亜紀さん
【写真提供：東陽支所さま】

3月3日、画家としても活躍している八代亜紀さんにちなんだ第18回八代亜紀絵画コンクールの表彰式が、八代市のお祭りでもんでん館であった。

事前に選ばれた「八代亜紀賞」5点から、八代さん自身が東陽中3年の黒田蓮奈さんの作品を大賞に選び、表彰した。

今回は「自分たちの住んでいるまち」がテーマで、大賞の作品は東陽定住センター前の重見橋と水辺の風景が描かれている。黒田さんは、「橋の形がきれいで目立つところがあるので、東陽町のシンボルだと思った。頑張って描いたので大賞に選ばれてうれしい」と喜びを語っていた。



春の東陽&五木を満喫 ライダーズミーティングin東陽

3月4日、東陽ブランド化推進協議会が主催するライダーズミーティングin東陽が道の駅「東陽」で開催され、多くのバイク愛好家やサイクリストなどが参加した。

オープニングイベントでは石匠太鼓やくまモンが会場を盛り上げ、生姜やデコボンなどを題材としたクイズで特産品のPRを行った。

また、道の駅「東陽」から道の駅「五木」までの道のりでは、観光スポットなどに立ち寄るデジタルスタンプラリーを実施。立ち寄りポイントの1つである坂より上公民館では、ヤマメの塩焼きの無料提供や熊本県立大学の学生による特産品を使ったカフェが開かれ、訪れたライダーらをもてなした。



坂より上地区でのおもてなし
【写真提供：東陽支所さま】

対話を重視、経験豊富な教師陣で安心感♪ 2年目を迎えたやまと高等学校、9名から92名に！



ビジネスに興味があるN君
先生と「起業」について話をしました。
先生と過ごす
ある午後のひととき



熊本 リモート
福岡 鹿児島

経験豊富な西校長と学生のやりとり(写真左)、オンライン始業式の様子(写真右)

2022年4月に開校した広域通信制の「やまと高等学校」の学校評価委員会が、3月20日に山都町の本校で開催され委員として参加した。これは同校の西泰弘校長が、弊店の「まちの課題解決・探究コース」の顧問であるというご縁によるもの。同委員会での内容に加え、多様な高等教育を目指す西校長への個別の質問を含めてレポートする。

【学校評価委員会委員長：岩本剛】

同校は、2012年3月に閉校した県立蘇陽高校を2019年4月にエネルギープロダクト株式会社(本社は東京)が県から購入。2021年8月に山都町が同校の設置を認可して開校した、民間経営の学校である。

◆3つの学舎と3つのコース

同校には本校とは別に、オンライン上はもちろん、熊本市、福岡市、鹿児島市に「そよ風学舎」という通学して学ぶ学習拠点を置いている。

また、一般的に高校卒業を目指すベーシックコース、プロスポーツ選手

をめざしながら学業との両立を目指すクエストコース、大学進学を目指すアドバンスコースがある。

開校時の学生数は9名だったが、12月までに月平均で7人程度が転入。3月に5名が卒業。4月の新入・転入生が43名で92名となる。今年度の目標は、155名らしい。



オンラインを併用した学校評価委員会

◆スペシャリスト揃いで個別対応も

通信制高校でも心のケアなどが不可欠であるため、ベテランの養護の専門職を雇用。また、熊本市内の有名進学校からの転入生も含め進学希望者が多いので、経験と実績を踏まえた教師を雇用し、外国人講師も含め個別対応も行っている。

ユニークだったのは、3泊4日の修学旅行で、旅行代理店に依頼せず教師が手配することで、経費が大幅に抑えられた。

◆学習状況管理のシステム開発を

評価委員でもあるPTA会長からは、「レポート提出のトラブルがあったが、

■生徒・保護者アンケート(抜粋)

①入学を選んだ理由

- ・優秀な先生と広域(他県)に居住する生徒と学ぶことができる
- ・入学前に教校の見学や説明を聞き、最も熱心だった教師陣の人柄にひかれた
- ・公立学校より自由に生活できる

②入学後の効果や感想など

- ・先生方に恵まれ、多様な生徒と接することでしっかりと生きてきたように思う
- ・わからない内容等で、自習や質問が積極的にできていない気がする。先生方から声かけで、学舎を有効に活用して欲しい(子どもの性格にもより難しい面もあるが)
- ・少しずつ体調が良くなってきている
- ・いま自分に必要なことは何なのかなど、新しいことに気付くことができた

③学校経営や教育サービスに対する不安

- ・入学前は会社が経営?と不安に思ったが、入学後の教育サービスは全く問題ない
- ・デジタル化が進んでいて少し難しいところもあるが、慣れていきたい
- ・不安は特になく、入学目的をご理解いただき、しっかりと指導していただきたい

娘が生き生きとしている!不登校の保護者から相談を受けたので、自宅にはパンフレットを常備している」との話があった。

これに対し西校長は、「学生や学習内容の運営・管理を行うG社の無料ツールで、トラブルが発生してしまった。次年度には、独自システムを開発する予定である」と語った。

◆対話と教師の幅広い経験

4月15日、西校長のミニ講演会で来店の方、大学入試改革や学習指導要領の改訂に伴う取り組み等について話を聞いた。

【若】教師の人員不足や人材不足等により、改革や改訂に対して十分対応できていない学校が少なくないような気がするが、

【西】転入生は楽しくないという理由で来ることが多く、当校では総合選抜型入試は利用できないと思っている親もいた。通信制だからと言って進学に不利はない。教育現場では、従来のセンター試験から抜け切らず、指導がフィットしていないのかもしれない。

【若】改めて貴校の特徴は?

【西】まず対話を重視し、会話から学生の関心事を探っている。事例を挙げると、森の仕組みに関心のある学生2人を菊池溪谷に連れて行き、観察から始めた。短時間に専門家が使う図鑑も使いこなすようになった。行く前とは明らかに意欲が変わり、勉強にも良い影響を与えた。

もう一つは、簿記の図書を読んでいた学生。解説してもあまり理解できなかったため、弊社の発電所の経営(元を取る年月、耐用

■令和4年度の在籍者の内訳

県別在籍者(単位:人、%)

熊本	26	50
福岡	9	17
鹿児島	10	19
大分	5	10
佐賀	2	4
計	52	100

そよ風学舎別在籍者(単位:人、%)

熊本校	8	15
福岡校	10	19
鹿児島校	6	12
リモート校	7	14
本校のみ	21	40
計	52	100

相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務など、お気軽にご相談ください。

司法書士法人 川口事務所

司法書士 川口邦則
(熊本県司法書士会会員)
住所 水川町今143-1
電話 62-1770
メール info@kawaguchi-office.org



事務所移転しました!



新入塾受付中!

--- 個別指導:小5~中3生対象 ---

- ◎ 「1:2」の完全個別指導です。
- ◎ 一人ひとりの進度に合わせて指導します。

谷口数学塾

Tel:62-8321(090-3669-5072)

鏡町下有佐792-6 有佐駅より徒歩約10分



★高校受験の強〜い味方

熊日では、中3クラブを毎月発行しており、私立高校の入試問題、県立高校の入試予想問題のほか、進学のアドバイスなども盛りだくさん。

ご希望の方は、熊日宮原販売センター(62-3868)へお申込み下さい。弊店に冊子が到着後、各ご家庭へお届けいたします。





ファーストペンギンになる(45) 「ぎろっちょのぼり」を24店舗に設置♪ ～ぎろっちょ縁道プロジェクト第二弾～



48個のぎろのぼりを6人で製作(写真左)、プロジェクト参加24店舗に5人で設置(写真右)

ぎろっちょひな飾りに続く第二弾として、3月から試行錯誤しながら作った「ぎろっちょのぼり」。素材は2種類のアルミ缶とフェルト生地、そして市販の風車だ。4月8日の第8回ぎろっちょ縁道プロジェクト実行委員会の議論を踏まえ、色を赤と青をメインに変更。私たち事務局の6人が、同日から2日間の合宿で完成させた。

ぎろっちょのぼりの製作を通して、これま

でより可能性が広がったな！と強く感じた。石像とのコラボの仕方やアイデアの幅が広がり、今後の活動にも行かせるだろう。

設置については、4月16日の午後から5名で3時間かかった。作業工程には竹の固定や紙粘土でぐらつきを抑えるなどいくつかあり、みんなが自分の役割を考えながら行った。

今回初めて針金での固定を上手く行う方法を学んだり、悪戦苦闘したりしたが、少なからず知恵も付いたと思う。課題は、十分な下準備と作業効率を上げることだ。

作業を進める中で、お店の方と話をする機会があった。前回のひな飾りの反応を聞く、「可愛くて、石像が目立つ」など、とても好評だったようだ。地域の方との交流はまだ少ないが、これから活動を通じて様々な人と関わり、まちの活性化へ向けて少しでも貢献したいと思っている。

なお、4月7日にはTKUの「かたらんね」から取材を受け、17日に放映された。

【八代清流高校2年：稲本美聖】

ぎろっちょ縁道プロジェクトの事務局である「まちの課題解決・探究コース」のメンバーが、プロジェクト参加店を訪問し、毎月2店舗を紹介する新コーナー♪



取材を終えて、もっこすファイヤーと♪

ぎろっ子、お店めぐり② ～ぎろっちょ縁道PJ参加店紹介～

【クールジョワ ツツイ】

「家族みんなで来れる」、そんな美容院を皆さんはご存知ですか。老若男女問わず、幅広い層に愛されるお店です。ゆっくり話すスペースもあり、遊びに来る人も多数いるそうです。

また、車などでの移動が困難になってしまう高齢者の方などにも来てもらいやすいように、送迎も行っているそうです。お店の方もとても優しく、明るく、店全体が明るい素敵なお店です。予約が必要です。皆さん、ぜひ行ってみてください。

- ・営業時間：8:00～19:00(受付)
- ・住所：水川町宮原栄久15-1
- ・予約方法：電話(0965-62-3118)



【四宮商会】

上下水道工事や土木工事、水道設備など、なくてはならない大事なお仕事、有限会社 四宮商会です。誠実に仕事に向き合うことを心がけ、お困りごとを解決されてきました。

トイレやお風呂、キッチンなどのお困りごとなどございませんか？ぜひ、相談してみてください。お店の方も優しく話を聞いてくださいます。困ったを笑顔に変える素敵なお仕事です。ぜひ、ご連絡ください。

- ・営業時間：8:00～17:00
- ・住所：八代郡水川町宮原677番地4
- ・予約方法：電話(0965-62-2490)



【彩の国から～人と地球のための新・幸福論⑫】

「楽器と環境問題」

～鈴嶋克太(子ども記者08)～

僕の趣味は音楽。初期投資やレッスン代は掛かるけど、楽器はちゃんとメンテナンスすれば、半永久的に使え。余興によし、脳トレによし、心身のリフレッシュにもよし。このようなメリットを考えると、趣味としてのコスパは高いと言える。

◆ワシントン条約

だが、「環境」の観点で楽器を見ると必ずしも良いことばかりでない。例えば、弦楽器の高級な弓には「ブラジルボク」というブラジル産の堅い木が使われているが、昨年、その木が「絶滅の危機にある」ということで、ワシントン条約(希少な野生動物植物の国際的な取引を規制する条約)で、規制の強化が議論されたほどだ。

環境団体に身を置きながら、恥ずかしながら「ブラジルボク」の事はつい2～3ヵ月まで知らなかった。「自分のバイオリンもしや」と考えると、多少の罪悪感を禁じ得ない。

◆和太鼓に外国の木！？

東京・浅草の老舗太鼓屋「宮本卯之助商店」が、「東京西部の山で採れたスギを使って太鼓を製作した」と聞き、先月、仕事で社長さんにインタビューをした。皆、「えっ、和太鼓だから、日本の木を使うのが普通じゃないの？」と思うだろう。

ところが、「国内林業の衰退」「日本で大きな木が採れなくなった」「コスト削減」などの

理由で、社長さん曰く「多くの太鼓屋は、外国の木材。時にはアフリカの希少な木をわざわざ輸入することもある」らしい。

◆エコな楽器を自作！？

「どんな楽器にも多少の環境負荷は付き。やはり、一番エコなのは声楽(=自分の「体」が楽器)」ということか、...。ところが世の中には、完全オリジナルで、リサイクル材を使って楽器を自作する人がいるという。

4月8日、pixiechord(ピクシーコード)という、オリジナルの楽器を演奏するSami Eluさん(在日アメリカ人)のコンサートに行った。廃材を使って自作した楽器で、椅子のクッションから机にいたるまで、全てに手作り感が溢れていた。見た目は粗野だが、鍵盤、ハーブ、ドラムが融合したスタイルで、映画音楽のようにドラマチックな演奏。Youtube上の動画は、必見の価値あり！



Sami Eluさんの自作楽器

いわっちょの面白写真

～しまみれで奈良へ～

国内外からの観光客の回復を見込み、多くの人に奈良を訪れてもらおうと近鉄が企画したならしかトレイン。床は公園芝生、座席や吊革まで鹿まみれ(笑)



アイダホ州にて、新生活⑦

スポーツの春♪

～横道圭恵(水川町早尾出身)～



ボイシでの滞在も9ヶ月目に入りました。6月に帰国予定で、少しずつ帰国モードになってきています。岩本さんのお誘いで始めたボイシ記事も、今月を含め残り2回を予定しています。どうぞよろしくお願ひします。今回はスポーツの春！4月についてお伝えします。

日本にいるときは、スポーツと言えば秋をイメージしていましたが、ボイシでは春がスポーツの始めどき。2月末頃から子どもたちが習う野球やサッカークラブの募集が始まり、夏前まで活動しています。

期間限定なので気になる競技を気軽に始めることができ、色々な競技を幅広く経験することを重視していると感じます。

さて、我が家も長女が4月限定の小学校陸上部に所属し、週3回の練習と近隣の小学校との交流競技会に参加しています。また、私自身もピックルボールというアメリカ発祥のラケット競技を習い始めました。

ピックルボールはバドミントンコートとほぼ同じ大きさのコートの中で、専用のラケット(パドル)でプラスチックボールを打ち合うスポーツです。コートが狭いためテニスプレーほど走り回ることではなく、卓球よりもボールが大きいためパドルに当たりやすいという、いいとこ取りの競技。

日本ではまだまだできる場所が少ないのですが、コートはテニスコートと併用できるので、広まるときっと楽しめるだろうなと思います。



(左)交流競技会でサッカーボール投げに出場する長女さん、(右)ピックルボール

木造解体業

(有)もみのき

水川町宮原1440-1

Tel 62-4681 携帯090-3669-8000



売地・売家を募集しています。
価格査定は、無料です。
水川町宮原566-2
アシスト水川 代表 江崎 悟
TEL 090-9797-2312

New 桜ヶ丘団地宅地分譲(4区画)

約110坪 165万円

桜ヶ丘団地第3分譲地に4区画を販売します。

◎宮原小・水川中校区・上下水道・有佐駅車10分・売主・地目：雑種地